

教科・科目のシラバス

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
数学	数学	3	1年	新版 数学 新訂版(実教出版)	ニューサポート 改定版 数学 +A(東京書籍)

到達目標	基礎的な計算や考え方の理解とレベルの少し高い応用的な内容への挑戦
到達目標に向けての 具体的なとりくみ 【指導上の留意点】	教科書内容の説明と理解の徹底と書き込み問題集を使つての問題演習

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	式の計算	式の計算の演習	入学の際の宿題提出ならびにプリント提出	提出物ならびに授業全般への取り組み
5月	実数	実数、根号等の説明	中間考査点	提出物ならびに授業全般への取り組み
6月	方程式と不等式	2次方程式、不等式の理解	授業全般に対する取り組みの総合評価	提出物ならびに授業全般への取り組み
7月	2次関数	関数とグラフの関係	期末考査	提出物ならびに授業全般への取り組み
8月	2次関数	グラフの作成	提出物	提出物ならびに授業全般への取り組み
9月	2次関数	最大と最小	夏休みの宿題提出ならびにプリント提出	提出物ならびに授業全般への取り組み
10月	2次関数	2次関数のグラフとx軸の位置関係	中間考査	提出物ならびに授業全般への取り組み
11月	2次関数	2次不等式	授業全般に対する取り組みの総合評価	提出物ならびに授業全般への取り組み
12月	図形と計量	三角比	期末考査	提出物ならびに授業全般への取り組み
1月	図形と計量	正弦定理と余弦定理	冬休みの宿題提出ならびにプリント提出	提出物ならびに授業全般への取り組み
2月	図形と計量	正弦定理と余弦定理、図形の計量	提出物	提出物ならびに授業全般への取り組み
3月		学年末考査	1年間を通して総合的に評価する	提出物ならびに授業全般への取り組み

教科・科目のシラバス

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
数学	数学	4	2年	新編 数学 (数研出版)	Study-Upノート 数学 (数研出版) フォローノート 数学 A(復習)+ (数研出版)

到達目標	数学 及び数学Aの上に、分数式や高次方程式等、高度な計算力を身につけること。実数から複素数に数の範囲を拡張することにより、これまで解けなかった方程式を解く事。また因数定理を利用した高次方程式の解法など発展的な方程式の解法、さらに座標平面を用いた式と図形との関係を学ぶ。さらに三角関数や指数・対数関数およびその応用力を身につける。最後に微分・積分の基本を学ぶ。
到達目標に向けての具体的などりくみ 【指導上の留意点】	教科書・副読本を有効に利用し、個々の生徒の学習の進行状況をこまめに確認することにより、問題解法におけるつまづきを早期に発見し、修正していくこと。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	第1章 方程式・式と証明	多項式の割り算、分数式の計算、恒等式、等式・不等式の証明	提出物、授業への取り組み、小テスト	多項式の割り算や分数式の計算処理を正しくできること。等式・不等式の証明プロセスの理解。
5月	第2章 複素数と方程式	複素数と2次方程式の解、解と係数の関係、剰余の定理と因数定理、高次方程式	提出物、演習点検、定期考査	複素数の基礎計算。解と係数の関係を使った解法。因数定理を利用して高次方程式を解くこと。
6月	第3章 図形と方程式	直線及び平面上の点の座標、直線の方程式、2直線の平行と垂直の関係	提出物、授業への取り組み、小テスト	2直線の交点を求め、平行・垂直関係から他方の直線の方程式を求める。
7月	第3章 図形と方程式	円の方程式、円と直線、軌跡と方程式、不等式の表す領域、連立不等式の表す領域	提出物、演習点検、定期考査	円の方程式を作ること。方程式から円を書くこと。円と直線の交点を求めること。不等式の表す領域を図示すること。
8月	第4章 三角関数	角の拡張、一般角、弧度法、三角関数のグラフ、関数の性質	提出物、授業への取り組み、小テスト	三角関数の計算を弧度法とともに理解できること。グラフを書けること。
9月	第4章 三角関数	三角関数を含む方程式・不等式、加法定理とその応用、三角関数の合成	提出物、授業への取り組み、小テスト	方程式・不等式から角度及び範囲を正しく求められること。加法定理・二倍角・半角公式の定着と応用。三角関数の合成の計算。
10月	第5章 指数関数・対数関数	指数法則と指数の拡張、指数関数とそのグラフ	提出物、演習点検、定期考査	指数の計算法則を理解し、指数関数のグラフを書けること。
11月	第5章 指数関数・対数関数	対数とその性質、対数関数とグラフ、常用対数	提出物、授業への取り組み、小テスト	指数を使った応用問題の演習、対数の計算法則の理解し、式とグラフの関係を把握する。
12月	第6章 微分・積分	微分係数、導関数、接線の方程式	提出物、演習点検、定期考査	関数の変化の割合と微分の基礎計算ができること
1月	第6章 微分・積分	関数の増減、関数の極大・極小、最大・最小、グラフの応用	提出物、授業への取り組み、小テスト	増減表の作成、最大値・最小値を求めること。
2月	第6章 微分・積分	不定積分・定積分、図形の面積と定積分	提出物、演習点検、授業への取り組み、小テスト	不定積分と定積分の基礎計算、面積を求める手法の理解
3月		学年末考査	1年を通して総合的に評価する	

教科・科目のシラバス

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
数学	数学	4	3年	新 数学 (知研出版)	Study - Upノート 数学 + C(数研出版)

到達目標	数列の極限・関数の極限など極限の概念の理解 微分積分の基本となる考え方 微分積分の応用などを学習することにより数学的知性を養成することを目標とする。さらに数理科学系を目指す者にとって必要な数学的素養及び思考力を身につけること。
到達目標に向けての具体的などりくみ【指導上の留意点】	極限の概念から始まり、数学の微分・積分の発展段階の演習問題に取り組む。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	1章 関数 2章 極限	分数関数・無理関数、逆関数と合成関数 数列の極限	内容理解度、授業での取り組み、提出物、出席状況	授業中の演習と問題集チェック
5月	2章 極限	無限等比級数、関数の極限	内容理解度、授業での取り組み、提出物、出席状況、中間考査	授業中の演習と問題集チェック
6月	3章 微分法	導関数、合成関数・逆関数の微分法	内容理解度、授業での取り組み、提出物、出席状況	授業中の演習と問題集チェック
7月	3章 微分法	いろいろな関数の導関数	内容理解度、授業での取り組み、提出物、出席状況、期末考査	課題点検と考査
8月	4章 微分法の応用	接線、平均値の定理	内容理解度、授業での取り組み、提出物、出席状況	授業中の演習と問題集チェック
9月	4章 微分法の応用	関数の値の変化、関数のグラフ	内容理解度、授業での取り組み、提出物、出席状況	授業中の演習と問題集チェック
10月	4章 微分法の応用	方程式・不等式への応用	内容理解度、授業での取り組み、提出物、出席状況、中間考査	授業中の演習と問題集チェック
11月	5章 積分法とその応用	不定積分、置換積分、部分積分	内容理解度、授業での取り組み、提出物、出席状況	授業中の演習と問題集チェック
12月	5章 積分法とその応用	定積分、置換積分、部分積分	内容理解度、授業での取り組み、提出物、出席状況、期末考査	課題点検と考査
1月	5章 積分法とその応用	面積、体積	内容理解度、授業での取り組み、提出物、出席状況	授業中の演習と問題集チェック
2月		学年末考査	1年を通して総合的に評価する	
3月				

教科・科目のシラバス

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
数学	数学A	2	1年	新編 数学A(実教出版)	数学 +A サブノート(実教出版)

到達目標	基本的な数学内容の理解の徹底と少しレベルの高い内容への挑戦
到達目標に向けての 具体的なとりくみ 【指導上の留意点】	教科書の内容を細かく説明し、問題集を用いて理解の定着を図る

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	集合と場合の数	集合と要素の個数	入学の際の宿題提出ならびにプリント提出	提出物ならびに授業全般への取り組み
5月	集合と場合の数	順列	中間調査点	提出物ならびに授業全般への取り組み
6月	集合と場合の数	組合せ	授業全般に対する取り組みの総合評価	提出物ならびに授業全般への取り組み
7月	確率	確率とその性質	期末考査	提出物ならびに授業全般への取り組み
8月				
9月	確率	いろいろな確率の計算	夏休みの宿題提出ならびにプリント提出	提出物ならびに授業全般への取り組み
10月	論理と集合	論理と集合	中間考査	提出物ならびに授業全般への取り組み
11月	論理と集合	論理と集合	授業全般に対する取り組みの総合評価	提出物ならびに授業全般への取り組み
12月	平面図形	三角形の性質	期末考査	提出物ならびに授業全般への取り組み
1月	平面図形	三角形の性質	冬休みの宿題提出ならびにプリント提出	提出物ならびに授業全般への取り組み
2月	平面図形	円の性質	提出物	提出物ならびに授業全般への取り組み
3月		学年末考査	1年を通して総合的に評価する	提出物ならびに授業全般への取り組み

教科・科目のシラバス

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
数学	数学B	2	2年	改訂版 新編 数学B(数研出版)	Study-Upノート 数学B(数研出版)

到達目標	数列およびベクトルの基本事項の理解と応用力の育成
到達目標に向けての 具体的なとりくみ 【指導上の留意点】	教科書の内容に沿ったプリントで基本事項の習熟を図り、問題集の演習で定着を図る

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	ベクトル	有向線分とベクトル ベクトルの演算	ノートチェック, 提出物, 授業態度等の平常点を評価する。	どれだけ授業に取り組んでいるかをチェックする。
5月	ベクトル	ベクトルの成分 ベクトルの内積	平常点と中間考査	同上
6月	ベクトル	位置ベクトル 図形への応用	ノートチェック, 提出物, 授業態度等の平常点を評価する。	同上
7月	ベクトル	ベクトル方程式	平常点と期末考査	同上
8月	ベクトル	平面上のベクトル 復習	1学期の復習をする	同上
9月	ベクトル	空間座標 空間のベクトル	ノートチェック, 提出物, 授業態度等の平常点を評価する。	同上
10月	ベクトル	ベクトルの空間図形への応用	平常点と中間考査	同上
11月	数列	数列と一般項 等差数列 等差数列の和	ノートチェック, 提出物, 授業態度等の平常点を評価する。	同上
12月	数列	等比数列 等比数列の和	平常点と期末考査	同上
1月	数列	記号, いろいろな数列 階差数列	ノートチェック, 提出物, 授業態度等の平常点を評価する。	同上
2月	数列	漸化式 数学的帰納法	ノートチェック, 提出物, 授業態度等の平常点を評価する。	同上
3月		学年末考査	1年を通して総合的に評価する	

教科・科目のシラバス

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
数学	数学C	2	3年	新編 数学C (知研出版)	Study-Upノート数学 + C (数研出版)

到達目標	行列における数学的考察と、確率の独立・従属の理解を深める
到達目標に向けての 具体的なとり組み 【指導上の留意点】	教科書内容の説明に加え、身近なものを具体例に挙げた事象を用いた内容、理解の徹底

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	行列	行列とその成分、行列の加法、減法、実数倍	提出物と宿題の発表の総合評価	提出物ならびに授業全般への取り組み
5月	行列	行列の乗法、行列の乗法の性質	中間考査	提出物ならびに授業全般への取り組み
6月	行列	ケーリー・ハミルトンの定理、逆行列	提出物と宿題の発表の総合評価	提出物ならびに授業全般への取り組み
7月	行列の応用	連立1次方程式と行列、回転移動	期末考査	提出物ならびに授業全般への取り組み
8月	行列の応用	行列による点の移動、行列の積と逆行列が表す点の移動	提出物と宿題の発表の総合評価	提出物ならびに授業全般への取り組み
9月	条件付き確率と事象の独立	確率の乗法定理	提出物と宿題の発表の総合評価	提出物ならびに授業全般への取り組み
10月	条件付き確率と事象の独立	条件付き確率と事象の独立と従属	中間考査	提出物ならびに授業全般への取り組み
11月	確率分布	確率変数と確率分布、確率変数の平均	提出物と宿題の発表の総合評価	提出物ならびに授業全般への取り組み
12月	確率分布	確率変数の分散、確率変数の和と積	期末考査	提出物ならびに授業全般への取り組み
1月	確率分布	二項分布	提出物と宿題の発表の総合評価	提出物ならびに授業全般への取り組み
2月		学年末考査	年間を通して総合的に評価する	
3月				

教科・科目のシラバス

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
数学	数学基礎演習	2	3年		基本ワーク 数学(増進堂)

到達目標	基礎的な計算を元に高校数学で学んだ内容を復習し、知識・理解を深める
到達目標に向けての 具体的なとりくみ 【指導上の留意点】	高校1年、2年で学んだ数学・・・Aの内容の理解の徹底(一部数学Bを含む)

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	数の計算 式の計算 因数分解	数と式の四則計算、因数分解	課題の提出、平常点、授業での取り組み	個々の生徒の理解度 到達度をみる
5月	約数と倍数 平方根の計算 式の値、比例式	整数の性質、有理化、整式の計算	課題の提出、平常点、中間考査	個々の生徒の理解度 到達度をみる
6月	1次方程式、連立方程式 2次方程式	1次方程式、2次方程式の解法	課題の提出、平常点、授業での取り組み	個々の生徒の理解度 到達度をみる
7月	不等式	1次不等式、2次不等式の解法	課題の提出、平常点、期末考査	個々の生徒の理解度 到達度をみる
8月	文章問題	各種文章題の解法	課題の提出、平常点、授業での取り組み	個々の生徒の理解度 到達度をみる
9月	1次関数とグラフ 2次関数とグラフ	関数とグラフの書き方	課題の提出、平常点、授業での取り組み	個々の生徒の理解度 到達度をみる
10月	平面図形	図形問題、面積の公式	課題の提出、平常点、中間考査	個々の生徒の理解度 到達度をみる
11月	図形の面積・体積	面積の公式、立体の体積と表面積	課題の提出、平常点、授業での取り組み	個々の生徒の理解度 到達度をみる
12月	場合の数 確率	順列、組合せ、確率の公式と計算	課題の提出、平常点、期末考査	個々の生徒の理解度 到達度をみる
1月	三角比	三角比の計算	課題の提出、平常点、授業での取り組み	個々の生徒の理解度 到達度をみる
2月		学年末考査	年間を通して総合的に評価する	
3月				

教科・科目のシラバス

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
数学	数学演習1	2	3年		実用数学セミナー(浜島書店)

到達目標	高校数学に関する知識を身につけ、実用出来る力を養う
到達目標に向けての 具体的なとりくみ 【指導上の留意点】	数多くの演習問題に取り組み 単元ごとに小テストを実施することにより理解力の強化に努める

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	数と式	数の計算、割合、整式の計算	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況	演習とノートチェック
5月	数と式	乗法公式、因数分解、分数式の計算	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況、中間考査	演習とノートチェック
6月	方程式	無理数の計算、1次方程式、2次方程式、連立方程式	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況	演習とノートチェック
7月	不等式	不等式、応用問題	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況、期末考査	課題点検と考査
8月	2次関数	2次関数のグラフ、最大・最小	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況	演習とノートチェック
9月	図形	図形と計量、面積・体積	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況	演習とノートチェック
10月	確率	個数の処理、確率	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況、中間考査	演習とノートチェック
11月	図形と方程式	直線の方程式、円の方程式	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況	演習とノートチェック
12月	指数と対数	指数、対数	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況、期末考査	課題点検と考査
1月	数列	等差数列、等比数列	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況	演習とノートチェック
2月		学年末考査	年間を通して総合的に評価する	課題点検と考査
3月				

教科・科目のシラバス

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
数学	数学演習2	2	3年		タイプ分けによる基礎の数学 A

到達目標	数学I・Aの全範囲を復習し、知識の徹底を図る
到達目標に向けての 具体的なとりくみ 【指導上の留意点】	基礎知識を整理し、応用力を身につけていく 大学や看護医療系専門学校レベルの受験問題を解く

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	数と式	整式の演算、因数分解	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況	ノートチェックと小テスト直しの提出状況
5月	数と式	実数、式の値、整数問題	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況、中間考査	ノートチェックと小テスト直しの提出状況と中間考査
6月	方程式と不等式	方程式、1次不等式、2次不等式	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況	ノートチェックと小テスト直しの提出状況
7月	2次関数	2次関数とグラフ、最大・最小	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況、期末考査	ノートチェックと小テスト直しの提出状況と期末考査
8月	2次関数	2次関数と方程式・不等式	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況	ノートチェックと小テスト直しの提出状況
9月	三角比	三角比、正弦定理・余弦定理	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況	ノートチェックと小テスト直しの提出状況
10月	個数の処理	集合、順列	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況、中間考査	ノートチェックと小テスト直しの提出状況と中間考査
11月	個数の処理	組合せ	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況	ノートチェックと小テスト直しの提出状況
12月	確率	確率、独立試行	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況、期末考査	ノートチェックと小テスト直しの提出状況と期末考査
1月	確率 命題 平面図形	いろいろな確率、命題、三角形、円	内容理解度、授業での取組み、提出物、出席状況	ノートチェックと小テスト直しの提出状況
2月		学年末考査	年間を通して総合的に評価する	ノートチェックと小テスト直しの提出状況と学年末考査
3月				

教科・科目のシラバス

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
数学	数学応用演習	2	3年		基本と演習 テーマ数学 + A(数研出版) 基本と演習 テーマ数学 + B(数研出版)

到達目標	・1、2年で身につけた基礎的な知識を基に、数学的課題を処理できる能力をつける
到達目標に向けての 具体的なとりくみ 【指導上の留意点】	・大学理数系学部受験に必要な数学の力を養う ・数学・数学A・数学・数学Bで学習した内容の再確認により基礎的な内容の理解を確実なものとする ・数学・数学A・数学・数学Bの内容に沿って入試に対応する問題にも取り組む。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	方程式と不等式	展開と因数分解、根号含む計算 不等式、絶対値、2次方程式	出席状況、ノートチェック、授業態度等の 平常点を評価する。	どれだけ授業に取り組んでいるかをチェッ クする。
5月	2次関数	関数とグラフ、最大・最小 2次関数の決定、2次不等式	平常点と中間考査	同 上
6月	図形と計量	三角比、相互関係、三角比の拡張 正弦定理、余弦定理、三角形の面積	出席状況、ノートチェック、授業態度等の 平常点を評価する。	同 上
7月	場合の数と確率	場合の数、順列、組合せ、円順列、重複 順列 確率の基本性質、独立試行と確率、期待 値	平常点と期末考査	同 上
8月	複素数と方程式	複素数とその計算、2次方程式の解 解と係数の関係、剰余の定理と因数定理	出席状況、ノートチェック、授業態度等の 平常点を評価する。	同 上
9月	図形と方程式	点、直線の方程式、2直線の関係 円の方程式、円と直線、軌跡と方程式 不等式の表す領域	出席状況、ノートチェック、授業態度等の 平常点を評価する。	同 上
10月	三角関数	三角関数とグラフ、三角方程式・不等式 加法定理、加法定理の応用	平常点と中間考査	同 上
11月	指数関数と対数関数	指数の拡張、指数関数 対数とその性質、対数関数、常用対数	出席状況、ノートチェック、授業態度等の 平常点を評価する。	同 上
12月	微分と積分	微分係数、導関数、接線の方程式 増減と極大・極小、グラフの応用 不定積分、定積分、図形の面積と積分	平常点と期末考査	同 上
1月	ベクトル、数列	ベクトルの加法・減法、成分、内積位置ベ クトル、直線のベクトル表示、ベクトルの 図形への応用、一般項、等差・等比数 列、数列の和、 階差数列、漸化式、数学的帰納法	出席状況、ノートチェック、授業態度等の 平常点を評価する。	同 上
2月		学年末考査	1年を通して、総合的に評価する。	
3月				